



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月9日

上場会社名 日立造船株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7004 URL <https://www.hitachizosen.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長兼COO (氏名) 三野 禎男  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 岩下 哲郎 TEL 06-6569-0022  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（報道関係者・証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	262,548	△1.0	2,347	—	569	—	△62	—
2020年3月期第3四半期	265,075	10.8	△2,656	—	△5,527	—	△15,896	—

（注）包括利益 2021年3月期第3四半期 2,049百万円（－％） 2020年3月期第3四半期 △16,246百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△0.37	—
2020年3月期第3四半期	△94.32	—

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	404,636	119,659	29.2
2020年3月期	409,531	119,500	28.8

（参考）自己資本 2021年3月期第3四半期 117,997百万円 2020年3月期 118,003百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	12.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	△0.6	13,500	△2.8	7,500	△20.5	4,500	104.8	26.70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	170,214,843株	2020年3月期	170,214,843株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,677,442株	2020年3月期	1,674,282株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	168,539,123株	2020年3月期3Q	168,543,066株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会資料の入手方法）

当社は、2021年2月9日に報道関係者・証券アナリスト・機関投資家向けにカンファレンス・コールによる四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する四半期決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
3. 補足情報	8
(1) 2021年3月期第3四半期 連結業績補足資料	8
(2) 2021年3月期 連結業績見直し補足資料	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経済情勢は、海外では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行により依然として厳しい状況にあります。国内でも、設備投資や雇用情勢が弱含みに推移しており、海外と同様厳しい状況にありますが、公共投資が堅調なこともあり、持ち直しの動きも見られます。先行きについては、新型コロナウイルス感染症が国内・海外経済に及ぼす影響等に留意する必要があります。

こうした中で、当社グループでは、2020年度からスタートした中期経営計画「Forward 22」のもと、製品・サービスの付加価値向上、事業の選択・集中の推進とリソースの伸長分野へのシフト、業務効率化・生産性向上による働き方改革の実現を基本方針として、各種重点施策を鋭意推進しているところです。

以上のような取組みを進める中で、当第3四半期連結累計期間の受注高は、機械部門及びインフラ部門で減少したものの、環境・プラント部門が増加したことにより、前年同四半期を上回る330,085百万円となりました。また、当第3四半期連結累計期間の売上高については、インフラ部門の減少等により、前年同四半期を下回る262,548百万円となりました。

損益面では、営業損益は、機械部門及びインフラ部門の黒字転換により前年同四半期から大きく改善し、2,347百万円の利益計上となりました。この営業利益の改善が寄与し、経常損益も前年同四半期から大きく改善し、569百万円の利益計上となりました。さらに、前年同四半期に計上した特別損失がなくなったこと等により、親会社株主に帰属する四半期純損益は62百万円の損失計上と、前年同四半期から大幅に改善しました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

#### ①環境・プラント

国内ごみ焼却発電施設の大口工事が減少したものの、海外ごみ焼却発電施設の大口工事が進捗したことにより、売上高は前年同四半期を上回る166,505百万円となりました。一方、営業利益は、海外子会社の収益改善があったものの高採算工事の減少等により、前年同四半期を下回る1,049百万円となりました。

#### ②機械

船用原動機及びプロセス機器で増加したことに伴い、売上高は前年同四半期を上回る69,991百万円となりました。また、営業損益は、プロセス機器の収益改善等により、前年同四半期の営業損失から転じて1,117百万円の利益計上となりました。

#### ③インフラ

大口工事の減少により、売上高は前年同四半期を下回る19,673百万円となったものの、営業損益は、前年同四半期の新製品における補償工事費の発生がなくなったこと等により、前年同四半期の営業損失から転じて102百万円の利益計上となりました。

#### ④その他

売上高は前年同四半期を下回る6,376百万円、営業利益も前年同四半期を下回る121百万円となりました。

当社グループの事業の性質上、連結会計年度末に完成する工事の割合が大きく、売上高が連結会計年度末に集中することから、業績は季節的変動が大きくなる傾向があります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、売上債権の回収に伴う受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べて4,895百万円減少し、404,636百万円となりました。負債の部は、前受金が増加したものの、仕入債務の支払に伴う支払手形及び買掛金ならびに未払費用の減少等により、前連結会計年度末に比べて5,053百万円減少し、284,977百万円となりました。純資産の部は、退職給付に係る調整累計額が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて159百万円増加し、119,659百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえて検討した結果、売上高は前回（2020年11月4日）公表の予想数値から変更ありません。

一方、損益面では、営業利益は、環境・プラント部門、機械部門及びインフラ部門にて工事コストダウン及び固定費削減に伴う改善が見込まれることから、前回公表の11,000百万円から2,500百万円増加し13,500百万円となる見通しです。営業利益の増加が寄与し、経常利益も前回公表の6,500百万円から1,000百万円増加し7,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益も前回公表の4,000百万円から500百万円増加し4,500百万円となる見通しです。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、現時点では軽微であります。今後業績予想に修正の必要が生じた場合は、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,939	44,212
受取手形及び売掛金	160,013	130,868
商品及び製品	1,188	1,547
仕掛品	16,509	29,344
原材料及び貯蔵品	5,691	6,123
その他	20,144	23,750
貸倒引当金	△3,379	△3,149
流動資産合計	243,106	232,698
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	35,253	34,647
土地	47,876	47,883
その他(純額)	31,160	34,020
有形固定資産合計	114,290	116,552
無形固定資産		
のれん	2,164	2,011
その他	8,231	7,631
無形固定資産合計	10,395	9,642
投資その他の資産		
その他	42,213	46,269
貸倒引当金	△562	△595
投資その他の資産合計	41,650	45,673
固定資産合計	166,335	171,868
繰延資産	88	70
資産合計	409,531	404,636

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,140	35,446
電子記録債務	21,731	20,985
短期借入金	14,338	19,705
1年内償還予定の社債	—	5,000
リース債務	809	879
未払費用	46,780	39,455
未払法人税等	3,022	1,283
前受金	22,757	33,353
保証工事引当金	5,602	6,938
工事損失引当金	2,714	2,538
その他	17,399	13,141
流動負債合計	179,297	178,728
固定負債		
社債	25,000	20,000
長期借入金	56,359	55,853
リース債務	3,082	3,274
退職給付に係る負債	20,929	21,169
役員退職慰労引当金	363	336
資産除去債務	3,056	3,070
その他	1,940	2,545
固定負債合計	110,732	106,248
負債合計	290,030	284,977
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	45,442	45,442
資本剰余金	8,527	8,530
利益剰余金	65,060	62,975
自己株式	△1,020	△1,021
株主資本合計	118,009	115,927
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145	409
繰延ヘッジ損益	△6	△143
土地再評価差額金	△7	△7
為替換算調整勘定	△110	288
退職給付に係る調整累計額	△26	1,523
その他の包括利益累計額合計	△6	2,070
非支配株主持分	1,496	1,661
純資産合計	119,500	119,659
負債純資産合計	409,531	404,636

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	265,075	262,548
売上原価	226,987	218,825
売上総利益	38,088	43,723
販売費及び一般管理費	40,745	41,375
営業利益又は営業損失(△)	△2,656	2,347
営業外収益		
受取利息	68	82
受取配当金	135	85
持分法による投資利益	593	—
その他	951	604
営業外収益合計	1,749	772
営業外費用		
支払利息	626	523
持分法による投資損失	—	3
その他	3,993	2,023
営業外費用合計	4,619	2,549
経常利益又は経常損失(△)	△5,527	569
特別損失		
海外事業関連損失	6,589	—
投資有価証券評価損	6,510	—
特別損失合計	13,099	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△18,627	569
法人税等	△2,762	596
四半期純損失(△)	△15,864	△26
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	35
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,896	△62

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△15,864	△26
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51	117
繰延ヘッジ損益	100	△160
為替換算調整勘定	△654	440
退職給付に係る調整額	356	1,541
持分法適用会社に対する持分相当額	△133	137
その他の包括利益合計	△382	2,076
四半期包括利益	△16,246	2,049
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,275	2,014
非支配株主に係る四半期包括利益	29	35



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(ASC第842号「リース」の適用)

第1四半期連結会計期間の期首より、一部の米国連結子会社において、ASC第842号「リース」(以下、ASC第842号)を適用しております。ASC第842号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

3. 補足情報

(1)2021年3月期 第3四半期 連結業績補足資料

①連結受注高・受注残高

(単位:億円)

事業セグメント	2019年度 第3四半期累計	2020年度 第3四半期累計	比 較	2020年12月末 受注残高
環 境 ・ プ ラ ント	1,721	2,433	712	6,792
機 械	768	633	△ 135	890
イ ン フ ラ	288	171	△ 117	421
そ の 他	83	63	△ 20	1
合 計	2,860	3,300	440	8,104

②連結損益計算書

(単位:億円)

		2019年度 第3四半期累計		2020年度 第3四半期累計		比 較	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
売上高・営業利益	環 境 ・ プ ラ ント	1,645	24	1,665	10	20	△ 14
	機 械	686	△ 33	700	11	14	44
	イ ン フ ラ	230	△ 25	196	1	△ 34	26
	そ の 他	89	8	64	1	△ 25	△ 7
	合 計	2,650	△ 26	2,625	23	△ 25	49
営業外損益	金 利 負 担 額		△ 4		△ 4		0
	持分法投資損益		6		△ 0		△ 6
	そ の 他		△ 31		△ 14		17
	計		△ 29		△ 18		11
経 常 利 益			△ 55		5		60
特 別 損 益			△ 131		—		131
税金費用・ 非支配株主帰属利益			28		△ 5		△ 33
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益			△ 158		△ 0		158

※営業利益の「その他」にはセグメント間取引消去に関わるものを含んでおります。

## ③連結貸借対照表

(単位:億円)

科 目	2020年3月末	2020年12月末	比 較
現 金 及 び 預 金	429	442	13
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	1,600	1,309	△ 291
棚 卸 資 産	234	370	136
有 形 ・ 無 形 固 定 資 産	1,247	1,262	15
そ の 他	585	663	78
資 産 の 部 合 計	4,095	4,046	△ 49
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	659	564	△ 95
有 利 子 負 債	996	1,047	51
そ の 他	1,245	1,238	△ 7
負 債 の 部 合 計	2,900	2,849	△ 51
株 主 資 本	1,180	1,159	△ 21
そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	△ 0	21	21
非 支 配 株 主 持 分	15	17	2
純 資 産 の 部 合 計	1,195	1,197	2
負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	4,095	4,046	△ 49

## ④連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

科 目	2019年度 第3四半期累計	2020年度 第3四半期累計	比 較
営業活動によるキャッシュ・フロー	169	89	△ 80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 94	△ 95	△ 1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7	17	24
為 替 換 算 差 額	△ 5	2	7
現金及び現金同等物の増加減少額	63	13	△ 50
現金及び現金同等物の期首残高	343	415	72
現金及び現金同等物の期末残高	406	428	22

## (2)2021年3月期 連結業績見通し補足資料

## ①連結受注高

(単位:億円)

事業セグメント	2019年度実績 (参考)	2020年度見通し (2020.11.4公表)	2020年度見通し (2021.2.9公表)	2020年度見通し 比較
環境・プラント	2,894	2,800	2,900	100
機 械	1,143	850	850	0
イ ン フ ラ	397	350	250	△ 100
そ の 他	107	100	100	0
合 計	4,541	4,100	4,100	0

## ②連結損益計算書

(単位:億円)

		2019年度実績 (参考)		2020年度見通し (2020.11.4公表)		2020年度見通し (2021.2.9公表)		2020年度見通し 比較	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
売上高・ 営業利益	環境・プラント	2,543	158	2,650	110	2,650	120	0	10
	機 械	1,032	△ 12	950	0	950	10	0	10
	イ ン フ ラ	335	△ 16	300	0	300	5	0	5
	そ の 他	114	8	100	0	100	0	0	0
	合 計	4,024	138	4,000	110	4,000	135	0	25
経 常 利 益		94		65		75		10	
親会社株主に帰属する 当期純利益		21		40		45		5	

※営業利益の「その他」にはセグメント間取引消去に関わるものを含んでおります。